

<胃全摘術クリティカルパス>

患者様用

南9階病棟		お名前		様		担当医師						
経過日	過時	入院から手術前日まで 月 日入院	手術前日 (/)	手術当日 (/)	手術後1日目 (/)	手術後2日目 (/)	手術後3日目 (/)	手術後4日目 (/)	手術後5日目 (/)	手術後6～7日目 (/)～(/)	手術後8～10日目 (/)～(/)	手術後11～14日目以降 (/)～(/)
達成目標		・手術の不安、分からない事を相談できる ・手術の説明に同意できる	・手術を受ける心の準備ができる	・痛みがあれば伝えることができる	・立つことができ次に歩くことができる ・水分の取り方が分かる	・歩くことができる ・水分の取り方が分かる ・経腸注入が開始できる		・食事の摂り方が分かる	・ダンピング症状がでたときの対応方法がわかる	・経腸注入の方法がわかる	・退院に向けて心身ともに準備ができる ・経腸注入の方法がわかる	・今後の治療方針がわかる ・胃切食を50%以上食べることができる ・経腸注入ができる
検査		☐ 胸腹部レントゲン ☐ 心電図 ☐ 呼吸機能 ☐ 血液検査 ☐ 腹部CT ☐ 腹部エコー ☐ 胃カメラ ☐ 胃透視			☐ レントゲン ☐ 血液検査 ☐ お腹の管から出ている液体を検査に出します			☐ レントゲン ☐ 血液検査 (火曜日手術の方)	☐ レントゲン ☐ 血液検査 (木曜日手術の方)	☐ レントゲン(手術後7日目) ☐ 血液検査(手術後7日目)		
処置		☐ 問診をします	☐ 臍ゴマの掃除をします ☐ 必要な方は病室を移動します	☐ 必要時除毛をします ☐ お尻に床ずれ防止のテープを張ります	☐ 朝、主治医が胃管を抜きます	☐ 創に貼っている絆創膏を交換します ☐ 背中への痛み止めのチューブを抜きます (痛みの状況によってはお薬を追加することもあります)		☐ 主治医がお腹の管を抜きます		☐ 創の抜鉤を2～3回に分けて行います		
薬剤 (内服/点滴)		☐ 持参薬は服用して下さい (看護師に持参薬を見せて下さい。 内容を確認します。)	☐ 14時に下剤を服用します ☐ 21時に下剤を服用します ☐ 寝前に希望されれば、安定剤の服用ができます ☐ 手術前に必要なお薬の説明をします	☐ 手術後は持続点滴をします ☐ 抗生物質の点滴があります ☐ 手術後は痛み止めを使います ☐ 手術に必要なお薬を飲んでください	☐ 持続点滴をしています ☐ 持参薬は指示があるまで、飲まないでください				☐ 点滴が終了しましたら針を抜きます			
安静度 りハビリ		☐ 制限はありません		☐ 手術後はベッド上で安静になります (状態が安定すれば看護師が手伝い寝返りができます)	☐ 立つ練習の後で、点滴台を持ち歩行ができます (初めて歩行する時は看護師と一緒に歩行します)	☐ 歩行ができます(制限はありません)						
清潔		☐ 入浴できます	☐ 入浴していただきます(専用の消毒液をお渡します)	☐ 洗面をお手伝いします	☐ 手術後は看護師が体の状態に合わせて体を拭きます ☐ 寝衣を着替えます					☐ 管が抜ければ防水テープを貼りシャワー浴ができます ☐ 創が閉じていれば入浴ができます		
食事		☐ 常食です (病院食を食べてください)	☐ 朝、昼食は全粥食です ☐ 夕食は5分粥です ☐ 21時以降は絶食です ☐ 夕食後からOS1を1000 ml(手術予定時間3時間前までに)を飲んでください	☐ 絶食です	☐ 昼からOS1を200ml飲んでください (看護師が説明するまでお待ちください)	☐ 朝からOS1を200ml飲んでください ☐ 朝からOS1を500ml飲んでください ☐ 昼から胃切流動食	☐ 朝からOS1を500ml飲んでください ☐ 朝からOS1を500ml飲んでください ☐ 昼から3分粥	☐ OS1はありません ☐ 昼から5分粥	☐ OS1はあります ☐ 昼から5分粥	☐ 昼から5分粥(6日目) ☐ 昼から全粥(7日目)	☐ 昼から常食	
経腸栄養					☐ 腸ろうから栄養剤(ラコール)を20cc/回、3回/日注入します	☐ 栄養剤(ラコール)200mlを2倍に薄めたものを注入します	☐ ラコール400mlを注入します	☐ ラコール600mlを注入します	☐ ラコール1000mlを注入します	☐ ラコール600mlを注入します(8日目) ☐ ラコール400mlを注入します(9・10日目)	☐ ラコール400mlを注入します(11日目以降)	
排泄		☐ トイレ(制限はありません)		☐ 手術後尿の管が入ります	☐ 尿の管を外すことができます (尿の管を抜いた後はトイレで尿を貯めます。食事が始まれば尿を貯めるのは中止になります)			☐ トイレ使用してください				
患者様・ご家族への説明		☐ 入院診療計画の説明があります (入院診療計画書の記入) ☐ 手術説明があります (手術承諾書の記入) ☐ 麻酔科受診があります (麻酔承諾書の記入) ☐ 入院時オリエンテーション ☐ 手術前オリエンテーション (呼吸訓練/禁煙について/必要物品)の説明をします ☐ ネームバンドを着けて頂きます (入院中は装着したままになります)	☐ 必要物品の確認をします ☐ 体の起こし方を説明します ☐ 瘻の出し方を説明します ☐ 手術前までに承諾書を看護師にお渡しください	☐ 手術中御家族の方は南9階病棟でお待ちください ☐ 手術終了時御家族の方に説明があります。連絡がありましたら、2階面談室におこし下さい。 ☐ 手術前に弾性ストッキングを着用してください	☐ 体の起こし方を説明します ☐ 管の管理方法を説明します ☐ 尿のため方を説明します ☐ 早期離床の必要性について説明します ☐ 看護師が1回目の栄養指導の予約をします ☐ 午後、看護師が水の飲み方を説明します(スマイルライフを使用)	☐ 体の清潔について説明します ☐ 術後離床の必要性と方法について説明します ☐ ルート、ドレーンの管理について説明します ☐ 体位変換の方法について説明します ☐ しっかりと歩くことができれば、弾性ストッキングを脱いでください ☐ 1回目の栄養士による栄養指導があります(スマイルライフを使用)		☐ ダンピング症候群の対処方法を説明します ☐ 手術後の胃の状態について説明します ☐ 排便調節について説明します ☐ 退院後の食生活のイメージを教えてください ☐ 自宅での経腸注入の方法について説明し、指導します(覚えておくまで看護師が指導します)	☐ ダンピング症候群の対処方法を説明します ☐ 手術後の胃の状態について説明します ☐ 排便調節について説明します ☐ 退院後の食生活のイメージを教えてください ☐ 自宅での経腸注入の方法について説明し、指導します(覚えておくまで看護師が指導します)	☐ ダンピング症候群の対処方法を説明します ☐ 手術後の胃の状態について説明します ☐ 排便調節について説明します ☐ 退院後の食生活のイメージを教えてください ☐ 自宅での経腸注入の方法について説明し、指導します(覚えておくまで看護師が指導します)	☐ ダンピング症候群の対処方法を説明します ☐ 手術後の胃の状態について説明します ☐ 排便調節について説明します ☐ 退院後の食生活のイメージを教えてください ☐ 自宅での経腸注入の方法について説明し、指導します(覚えておくまで看護師が指導します)	☐ 退院日の前日又は当日に ☐ 退院療養計画書をお渡しします ☐ 次回外来受診日の予約券をお渡しします ☐ 退院時処方をお渡しします(希望された方のみ)
□入院証明書など書類が必要な方は早めにお知らせ下さい												

様の手術は 月 日 時からのお予定です

手術当日、御家族の方は手術前 時には病棟にいらして下さい

【必要物品】

腹帯(マジックテープ式)
T字帯
タオル・バスタオル
弾性ストッキング

2枚
2枚
2枚
1枚

* 売店で購入してください
* 売店で購入してください
* ご自宅のもので結構です
* 手術前日に看護師がサイズを測ってお渡しします

注意1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注意2: 入院期間については、現時点で予想されるものです。